



城南だより

令和8年9月1日（火）
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

災害への備えに向けて

校長 濱野 建児

子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。保護者の皆様、地域の皆様には、子供たちの健康と安全を見守っていただき、心より感謝申し上げます。

この夏、各地で地震や豪雨による被害が相次ぎました。令和8年熊本地震や令和8年8月千葉豪雨など、自然災害はいつ、どこで起こるか分からないことを改めて私たちに示しています。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、学校としても、災害への備えを一層具体的に進めていかなければならないと強く感じています。

学校には、移動や姿勢保持に支援が必要な児童・生徒、医療的ケアを必要とする児童・生徒、急な環境の変化に不安を感じやすい児童・生徒など、一人一人異なる状況があります。大切なのは、子供たち一人一人の実態に応じて、命を守るための方法を具体的に考え、日頃から繰り返し確認しておくことです。

本校では、学校危機管理計画をもとに、地震、風水害、交通機関の停止など、さまざまな場面を想定した訓練を行っています。校内の避難経路や備蓄品、非常用電源、医療的ケアに関わる物品、保護者への連絡方法、引き渡しや留め置き判断について、教職員で点検を重ね、必要な改善を行ってまいります。

災害への備えは、学校だけで完結するものではありません。御家庭でも、通学時や在宅時に大きな地震や豪雨が発生した場合の行動、連絡方法、避難場所、必要な薬や医療的ケア用品、非常持ち出し品などについて、改めて確認をお願いいたします。特に、電話やメールが繋がりにくい場合を想定し、複数の連絡手段を家族で共有しておくことが安心につながります。

2学期も、子供たちが安心して学び、力を発揮できる学校づくりを進めてまいります。災害は避けることができなくても、備えることで守れる命があります。学校、家庭、地域が力を合わせ、一人一人の命と学びを守る取組を、これからも丁寧に積み重ねてまいります。

夏季休業中の教職員向けの研修について

研究部

本校では、夏季休業中の教職員向け研修として、摂食指導研修や教材作成研修、自立活動研修、進路研修、医療的ケア研修、防災研修等を実施しました。

その中で、今回は、8月27日（木）に実施した教材展示会についてお伝えします。本校では、昨年度より、指導アイデアの共有を図り、各教員の授業力を高めることを目的として、各教員が作成した教材を紹介する研修会を実施しています。先日の研修会では、外部専門員として日頃より教材や授業に関する御助言をいただいている金森克浩先生（帝京大学教授）の御講演や濱野校長からの御講評に加えて、紹介を聞いた教職員が「使ってみたい」「楽しそう」と感じた教材に投票しました。今回、最も投票数が多かった教材は、以下の3点でした。

各教員が紹介した教材は、「教材データベース」と呼ばれるアプリ上に登録され、教員用のパソコンやタブレット端末等を使って、いつでも気軽に検索できる仕組みになっています。今後もこの取組を実施し、蓄積された教材や指導のアイデアを生かしたよりよい授業づくりに努めます。

教材名：まる、さんかく、しかく～形を触ろう～



教員の言葉掛けとともに実際に触れながら形に親しむ教材。

教材名：ボール発射機(アーチェリー弓)



筒を引っ張って離すとでセットしたボールを弾き出す教材。

教材名：2片で作る ひらがな言葉パズル



2片に分かれたパズルを組み合わせると、2文字の言葉が完成する教材。